

研究協力をお願い

昭和大学藤が丘病院、昭和大学横浜市北部病院では、下記の臨床研究(学術研究)を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

胸腺上皮性腫瘍の腫瘍発生・病態の違いを mRNA の発現頻度から探る研究

1. 研究の対象および研究対象期間

2000年4月1日から2010年12月31日に昭和大学藤が丘病院呼吸器外科で胸腺腫瘍摘出の手術を受けた患者さん

2011年1月1日から2015年12月31日に昭和大学横浜市北部病院呼吸器外科で胸腺腫瘍摘出の手術を受けた患者さん

2. 研究目的・方法

胸腺腫瘍の中で上皮性腫瘍(胸腺腫および胸腺癌)は、他の腫瘍に比べれば発生頻度は少ないですが、その分、発生や病態について不明な点が多く、いまだよく解明されていません。特に、胸腺腫の種類によっては癌に準じる様な転帰をとる場合があります。

今回、私たちは、患者さんから手術によって摘出した腫瘍検体を用いて、胸腺上皮性腫瘍におけるメッセンジャーRNA(mRNA)の発現頻度を次世代シーケンサーおよびPCRを使って調べ、胸腺上皮性腫瘍の種類による違いがないか検討することで、腫瘍発生や病態を解明することを目的とします。この基礎研究によって得られた知見は、将来の治療や診断・検査の一助になる可能性があります。

3. 研究期間

昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから2027年3月31日まで

4. 研究に用いる試料・情報の種類

試料：2000年4月1日から2010年12月31日に昭和大学藤が丘病院呼吸器外科において、
2011年1月1日から2015年12月31日の間に昭和大学横浜市北部病院・呼吸器外科において
摘出された胸腺腫瘍組織検体

情報：患者さんの年齢、性別、既往歴(過去に大きな病気にかかったか否か)、血液生化学データ、
放射線検査の画像、病理診断

5．外部への試料・情報の提供

本研究で使用する試料と診療情報は研究責任者が個人の氏名、生年月日、電話番号、また診療情報等の個人を識別できる情報を削除し、研究用のIDを付与することで符号化します。符号化した試料・診療情報は昭和大学藤が丘病院および昭和大学横浜市北部病院の外部から切り離されたコンピューター内およびUSBメモリにパスワードを設定して保存されます。なお、昭和大学藤が丘病院の診療情報は、藤が丘病院の担当者（研究分担者）より昭和大学横浜市北部病院の研究責任者に通知されます。符号化した試料は、研究分担者である増永敦子が共同研究機関である神奈川県立がんセンター臨床研究所に運び、同施設においてRNAを抽出し、その後外部業者による次世代シーケンサーの施行、神奈川県立がんセンター臨床研究所において外部業者から得られたデータ解析が行われ、符号化された解析データはパスワード設定を行ったUSBメモリに保存します。このUSBメモリはセキュリティの高いレターパックプラス（赤）を用いて、昭和大学横浜市北部病院・呼吸器外科に郵送され、データの集計を行います。また、得られた次世代シーケンスのデータは、患者さんが特定されない形で公共のデータベースに登録されることがあります。

6．研究組織

研究代表者	昭和大学横浜市北部病院・呼吸器外科	氏名	北見 明彦
研究責任者	昭和大学横浜市北部病院・呼吸器外科	氏名	北見 明彦
	神奈川県立がんセンター臨床研究所	氏名	宮城 洋平

7．お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学横浜市北部病院・呼吸器外科 氏名：北見 明彦

住所：横浜市都筑区茅ヶ崎中央 35 - 1 電話番号：（代）045-949-7000